

所長だより第29号 平成27年1月1日 1月発行

かきくけ航海日誌

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>

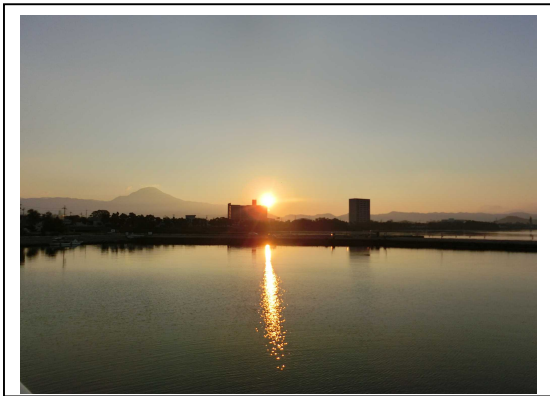


校旗の掲揚

「みずうみに学んで 世界の明日をみる」 「かきくけ航海」を生み出そう！

合言葉 か・・・考える き・・・気づく く・・・工夫する
け・・・継続する こ・・・行動する

新年あけましておめでとうございます



【所長 新庄 正幸】

フローティングスクールの生活指針「3つのあ」の二つ目の「あ」は挨拶です。「挨拶」を辞書で引きますと、禅家で門下の僧の押し問答「一挨一拶（いちあいいちさつ）」という言葉に出会います。師と修行者、あるいは修行者同士が出会ったとき、言葉や動作で互いの悟りの深淺などを試すこととあります。「挨（あい）」は軽く押すこと、「拶（さつ）」は強く押すことで、合わせて押し合うさまで、これが、挨拶の語源とされています。

やがてそれが人に会ったときや別れるときなどに取り交わす礼にかなった動作や言葉・会合や集会のスピーチを示すようになったようです。硬く言いましたが、相手に対して敬意や謝意を示せるといいなと考えます。挨拶をしているのに挨拶が返ってこない、何か？あるのかとも勘ぐってしまうことはありませんか。

そういう意味では、「うみのこ」に乗船してくる子どもたちの挨拶はとても元気で、清々しいです。声に出す時だけでなく、せまい船内だからこそ交わせる挨拶もあるのです。例えば、せまい階段の上り下りの時、同時にすれ違うことはできません。そんな時、相手が移動するのを待ってから、自分が動く。狭い「うみのこ」ならではの、このような場面をいくらかでも見かけます。また、夏期に行ったカッター活動では、「かい立て」という動きがあります。両ひざでオールをはさみ、オールを垂直に立てるのです。離岸や接岸の時に、オール保護のために行いますし、他の艇と挨拶をかわす時にも行います。

「たかが挨拶されど挨拶」掃除や挨拶のように誰でもできることを、誰にも負けないうらい続ける「湖の子」たちであってほしいです。「新年あけましておめでとうございます。」本年もどうぞよろしくお願いいたします。

かきくけコーナー

去年の航海のことです。4年生から「うみのこ」に乗船する前日までほぼ欠席だった子どもが「うみのこ」に乗船してくれました。引率の先生方にとって、大変嬉しいことでもあり、不思議なことでもありました。いや、参加することはないだろうとあきらめてもおられたようです。

参加できた要因は特定できませんが、登校や他の校外学習も参加しづらかった子どもが、その両日は仲間と一緒に時間を過ごせて、本当によかったです。「うみのこ」＝「魔法の船」を自負せざるを得ません。その日をきっかけに、再登校ができていればなお最高です。